

令和4年(2022年)8月4日(木曜日)



「浜松注染そめ」の浴衣を体験する参加者  
＝浜松市中区のオークラアクトシティホテル浜松

# 日米教員 浜松で交流

## 持続可能な教育へ「注染そめ」浴衣体験も

日米両国の小・中・高校の教員が持続可能な地域づくりの実践事例などを視察し、意見交換する交流プログラムの一環として「浜松ツアー」（日米教育委員会、JTB主催）が3日、浜松市内で始まった。4日までの日程で市内の企業や学校を訪問し、交流を図る。西国で選抜された教員各10人が参加している。

3日夜は同市中区のオークラアクトシティホテル浜松を訪れ、地場産業「浜松注染そめ」の浴衣の着用を体験した。鮮やかな色柄と優しい肌触りが魅力の浴衣を身に付け、日本の伝統文化の一端を楽しんだ。

4日は同区の浜松学芸高を訪問し、地元企業と共同で進める生徒の探求活動や、同区の二橋染工場で注染そめの作業を見学する。交流プログラムは2009年から毎年開かれ、日米両国の教員が「持続可能な開発のための教育」「情報通信技術を活用した教育」をテーマに相互に訪問し、意見交換している。

コロナの影響で、3年ぶりの開催となった。一行は3日午前に三島市も訪れ、源兵衛川の保全などについて学んだ。